



この夏の一枚の写真

「楽しかった」言いつ
つピッチャー抱きしめる
キャプテンの名は君こそ
みちを
ふさわし

アブラゼミの声はひとときわ大きい8月初旬。南部・法勝寺ソフトボール部は、鳥取県開催の中国大会に出場しました。

前半は、ピッチャーの好投とバックの堅い守備で0-0の緊迫した試合になりました。しかし、やはり中国大会出場の他県はここ一番でそつなく点を取ってきます。4回に点を先制されると、中軸の長打や盗塁で満塁にされました。外野から大声で気合を入れるキャプテン。しかしピッチャーの渾身の一球は、規定ゾーンを外れました。
(スライク)

「フォアボール!」

満塁から押し出しでコールドゲームが成立した瞬間、泣き崩れるピッチャーにいち早く駆け寄り、抱きしめる姿はキャプテンそのものでした。・・・3年間、お疲れさまでした!!

100 往復スリーメンの思い出 ～モアイのつぶやき～



真夏になると、ふと高校時代の地獄の(当時はそう思っていた)夏合宿のシーンがよみがえることがあります。2泊3日で宿泊所に寝泊まりしながら、ハードなトレーニングを行う合宿は部の伝統行事で、一日中走っていた記憶があります。昼に用意された定食ものどを通らず、午後はさらにばてる中で、一番辛かったメニューは「100 往復スリーメン」でした。「3人がパスをしながらコートを走り、決められた時間内に往復両方のシュートを決める」これを100本連続で行い、ミスショットしたらまた1から・・・なのです。この日も3時間近く練習した最後に、この3メンが監督から課されました。調子よく99本目まで入ったときに限り、100本目を落とした船越(ガーン)。仲間の「どんまい」の声も耳に入らず、何に対して腹を立てていいかわからず、悔しさと自分への怒りが入り混じる瞬間。・・・がむしゃらだった青春の思い出です。

プロ教師列伝その12 ～自ら学ぶ環境をつくる～



今年度の学校目標のキーワードの一つに「自己決定力」を掲げています。生徒自身が自ら課題を見つけ、何を調べればその課題が解決するのか、ということを自己決定しながら学びを進めていきます。教職員はその学びの姿におせっかいをすることなく、見守った上で必要に応じて助言を行います。

写真は、1学期の石田学校司書の様子です。本校の卒業生が掲載されている新聞に着目し、足を止めて見てもらうような仕掛けを施します。本校出身の先輩の名前を一生懸命に探す生徒の姿がとても印象的でした。

生徒の名言

- 親の誕生日プレゼントにしたいくて数学が5になるように頑張った・・・のになあ。(1年)
- 手紙の「御中」と「want you」は似てますね。【爆笑】(2年)
- 校長先生って、普段何の仕事してるんすか。集会の挨拶だけっすか?【苦笑】(2年)

さあ、2学期。君たちはどう生きるか!



計



チョークの粉で鼻がムズムズしていた時代は 終わり新しい歴史の始まりです



★教室の黒板が全面撤去になり、すべてホワイトボードになりました。職員は、熱中症が心配される中、水分をこまめに取りながら、新学期に向けて最終準備を進めています。写真は、「大切に使ってほしい」と願いを込めて、生徒用の連絡黒板にラインを引く3年団の様子です。

★今年も法中「駅伝部」がスタートしました。3年生11名、2年生16名の有志たちがまず行うのは、タイムトライアルです。(写真)お盆休みや勉強で多少なまった?身体に残暑が堪えますが、気合で3000m走りました。本番までに、記録がどれだけ上がっていくか楽しみです。



走



★いよいよ明日が本番!!
法勝寺児童館主催の「お化け屋敷作成ボランティア」に応募した有志たちは、貴重な時間を費やして、怖がらせるために様々な工夫を凝らしているようです。先日は、一式飾り用の暗幕が大量に必要ということで、数名がえっちらおっちら、協力しながら運んでいきました。少しでもヒンヤリしたい方は、ぜひ足をお運びくださり、中学生の活躍をみてやってください。

この夏のちょっとした自由研究 ～猫の親子～



本通信「7月10日号」で紹介した猫の親子についてです。母さん猫は「おかあさん」、体は白くて、耳と顔としっぽが黒い赤ちゃんネコを「くっちゃん」とよび、この夏休み中、観察をしていました。まだくっちゃんはおかあさんのおっぱいを「※ふみふみ」しながら飲んでいますが、そろそろ離乳食?の時期なのでしょうか。おかあさんに与えた竹輪を横取り、おいしそうに食べていました。それに味をしめてしまったのでしょうか。
...ある朝、勝手口から中に入っていました。(笑)でもさすがに野良猫。子どもに近づこうとすると、おかあさんは「シャー!!」と威嚇してきます。(つぶく)

※ふみふみの図→

